北郷町文化財調査報告書第２集

平成４年度埋蔵文化財調査概要

曾和田遺跡
池之上遺跡
昼野上遺跡

1993．3

北郷町教育委員会

平成４年度埋蔵文化財調査概要

曾和田遺跡

池之上遺跡

昼野上遺跡

1993．3

北郷町教育委員会

序

本町は、昭和63年、第１号リゾート地域としての国の指定をうけ、保養・歴史リゾートゾーンの指定をされています。そのような状況の中、町内各地で開発が実施されることが予想されます。

北郷町教育委員会が実施した今回の調査は、埋蔵文化財を緊急に保護する必要があるとの認識のもと、文化庁・県教育委員会の御援助・御指導により発掘調査を実施しました。この調査により遺跡の確認はもとより多数の資料を収集できましたことは今後の文化財の保護と開発事業との調整を進める上で大きな成果であると思われます。今後とも開発事業にあたっては、関係機関などと十分な協議をされることをお願いします。

今回は、その第２集として概要報告を行います。この小冊子が、北郷町の文化財保護に役立てば幸いです。

最後になりましたが、調査指導をお願いしました県教育委員会並びに御協力いただきました発掘作業員・工事関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成５年３月

北郷町教育委員会
教育長　徳　地　青　慈

例　　言

1．本書は、北郷町教育委員会が平成４年度に文化庁・宮崎県教育委員会の補助えて実施した平成４年度遺跡調査概要報告書です。

2．発掘調査は、町内の農道改良等の開発事業に伴う遺跡の確認調査として実施した。

3．本書の執筆、製図・写真撮影等は時元が行った。

4．遺物の整理については、倉岡郁子・長友恭子の協力を得た。

5．本書の編集については、時元が行った。

6．出土した遺物については、北郷町教育委員会で保管している。

本　文　目　次

第１章　はじめに …… 1

第２章　位置と環境 …… 2

第３章　発掘調査の概要 …… 3

　第１節　曽和田遺跡 …… 3

　第２節　池之上・昼野上遺跡 …… 3

第４章　おわりに …… 6

挿　図　目　次

第１図　遺跡周辺位置図 …… 2

第２図　曽和田遺跡トレンチ配置図 …… 4

第３図　池之上・昼野上遺跡トレンチ配置図 …… 5

図　版　目　次

図版 1　曽和田遺跡 …… 7

図版 2　池之上遺跡 …… 8

図版 3　昼野上遺跡 …… 9

図版 4　昼野上遺跡 …… 10

第１章　はじめに

北郷町内の遺跡の分布状況は、平成元年度の遺跡詳細分布調査で約５０ヵ所が確認されている。その後、本町がリゾート推進地区に指定され、保養・歴史リゾートゾーンの中に位置付けられている。この区域内に所在する遺跡の開発行為が、近年、増加の傾向が見られる。

そこで、北郷町教育委員会では、遺跡の区域内で農村総合整備事業や公園整備事業などの工事が予定された区域について、事前に分布調査を行い、必要と認める場合には試掘調査を実施している。

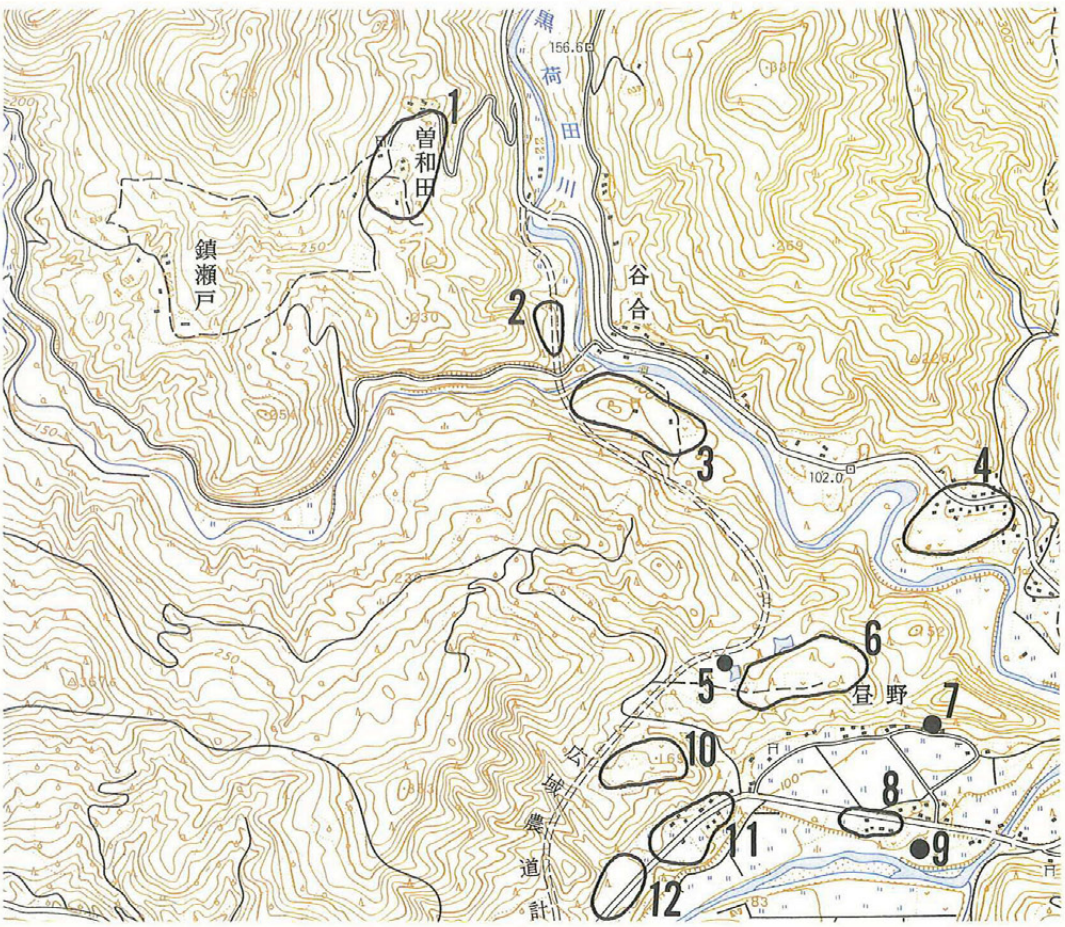
本年度は、４ヵ所で発掘調査を実施している。調査を実施した箇所については、下記のとおりである。なお、上村遺跡については、試掘調査の結果、遺跡の範囲外であった。

No.	調査地	所在地	調査期間
1	上村遺跡（うえむら）	北郷町大字郷之原甲3789－1外	平成４年７月30日
2	曽和田遺跡（そわた）	北郷町大字北河内5,150 番地外	平成４年10月15日 平成４年10月16日
3	池之上遺跡（いけのうえ）	北郷町大字北河内4,373 番地外	平成４年８月５日から 平成４年８月10日まで
4	昼野上遺跡（ひるのうえ）	北郷町大字北河内4,370 番地外	平成５年１月11日から 平成５年１月28日まで

第２章　位置と環境

曽和田遺跡は、北郷町大字北河内５，１５０番地外に所在する。この遺跡は、広渡川の支流である黒荷田川の台地の上の所在する。曽和田遺跡の周辺は、一字一石経が所在している。

池之上・昼野上遺跡は、 広渡川の本流と黒荷田川の間に形成された丘陵上に所在する。この丘陵の囲まれ谷には、農業用水に利用するための溜め池がつくられていた。現在でもこの谷に豊富に水が流れている。



第１図　　遺跡周辺位置図

１．曽和田遺跡　２．谷合遺跡　３．大塚遺跡　４．前田遺跡　５．池之上遺跡
６．昼野上遺跡　７．昼野遺跡　８．鍬代田遺跡　９．竹頭遺跡　10．桑津留遺跡
11．中須賀遺跡　12．辰丸遺跡

第３章　発掘調査の概要

第１節　曽和田遺跡

１．調査に至る経過

曽和田地区農道改良工事に伴い、曽和田遺跡にかかる範囲の特に一字一石経（第２図４）付近について、確認調査を実施した。

２．調査の方法と概要

調査は、農道の改良部分に第１～３トレンチを入れて調査した。基本の層序は、第１トレンチの断面で確認した。Ⅰ層（耕作土）、Ⅱ層（黒褐色土）、Ⅲ層（黄褐色土で、アカホヤが混入する。）、Ⅳ層（アカホヤ火山灰）となる。第１トレンチで、柱穴１・溝１を検出した。出土遺物は、第１トレンチから、縄文時代中期の土器片が出土した。

第２節　池之上・昼野上遺跡

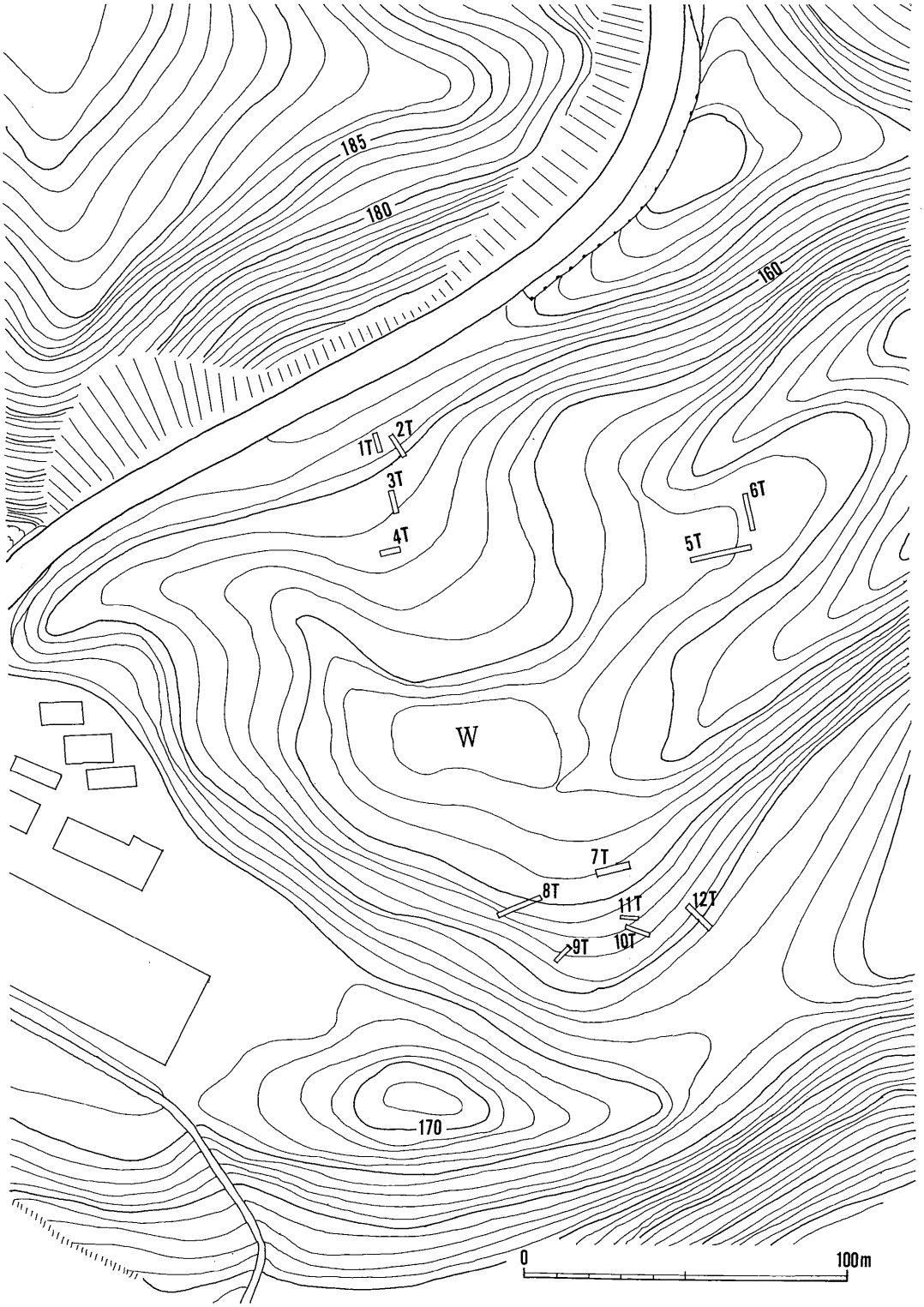
１．調査に至る経過

緑の里運動公園整備事業に伴い確認調査を実施した。第１～４トレンチを池之上遺跡とし、第５～１２トレンチを昼野上遺跡とした。池之上遺跡については、協議の結果、本年度中に造成されるため１２月上旬～１月下旬にかけて発掘調査を実施した。

２．調査の方法と概要

確認調査は、造成区域内に第１～１２トレンチを設定して調査を実施した。基本層序は、第７トレンチの北側壁面で確認した。層序は、Ⅰ層（表土）、Ⅱ層（黒褐色土）、Ⅲ層（暗黄褐色土御池ボラを含む。）、Ⅳ層（暗茶褐色土）、Ⅴ層（アカホヤ火山灰）、Ⅵ層（茶黒色土）となる。池之上遺跡では、第２・４トレンチからⅢ層下～Ⅳ層で縄文中期の土器・焼石が出土した。昼野上遺跡は、第５～７トレンチ・第１０～１２トレンチからⅢ層下～Ⅳ層にかけて、縄文時代中期から晩期・弥生時代後期の遺物が出土した。第７・１０トレンチからは、縄文晩期の組織痕土器が出土している。

第２図　　曽和田遺跡トレンチ配置図



第３図　　池之上・昼野上遺跡トレンチ配置図

第3章　おわりに

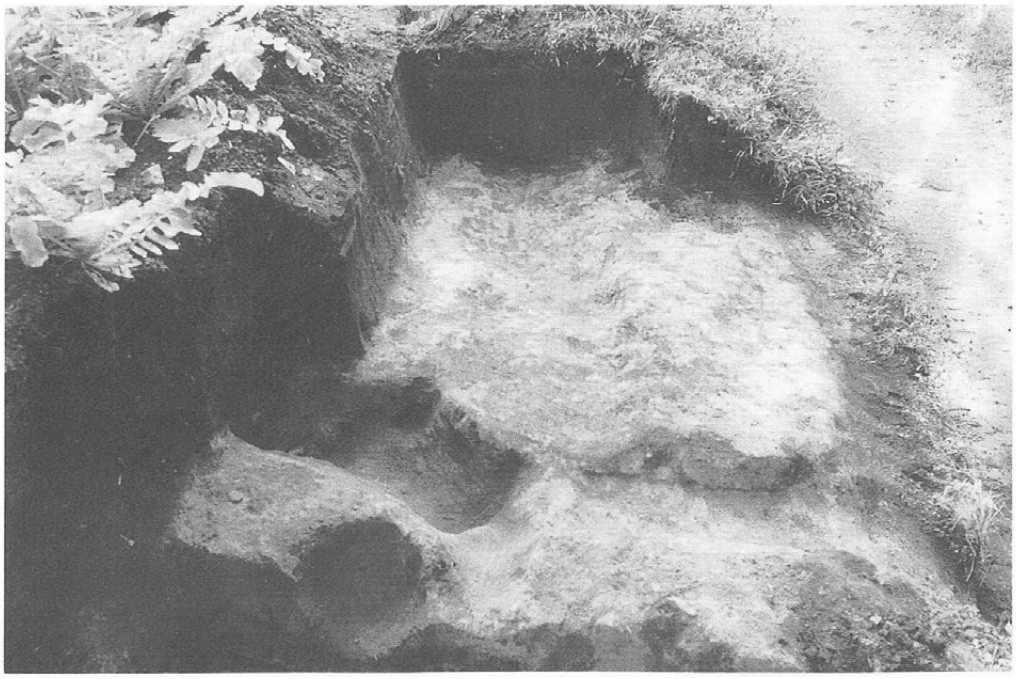
平成4年度の調査は、町道改良．農道改良や緑の里公園整備事業に伴い4遺跡の確認調査を実施した。調査の結果、曽和田遺跡では、縄文時代中期の遺物が、池之上遺跡からも縄文時代中期の遺物が出土している。池之上遺跡では、確認調査以後実施した発掘調査で縄文時代中期の竪穴住居跡1軒を検出した。昼野上遺跡では、縄文時代中期～弥生時代後期にかけての遺物か出土した。

本町では、平成5年度以降についても、運動公園・工業団地等の大規模な開発が予定されている。これらの開発事業と文化財の保護の調整が必要とされる。

図　版

図版 1

曽和田遺跡調査状況



曽和田遺跡第 1 トレンチ完掘状況

図版 2

池 之 上 遺 跡 遠 景

池之上遺跡第 2 トレンチ調査状況

図版３

昼野上遺跡第５・６トレンチ調査状況

昼野上遺跡第７トレンチ調査状況

図版 4

昼野上遺跡第 7 トレンチ土層断面

昼野上遺跡第10・11トレンチ調査状況

平成４年度埋蔵文化財調査概要報告書

平成５年３月31日

編　集　・　発　行

宮崎県北郷町教育委員会

南那珂郡北郷町大字郷之原乙1477

印　　刷

有限会社ヤノオフセット